

2026年7月9日

株式会社あいち銀行

## 生成AIを活用した融資稟議書作成支援の導入について ～ 最大年間 13,400 時間の業務削減効果で、「融資DX」を加速 ～

株式会社あいち銀行（代表取締役頭取 鈴木 武裕）は、法人向け融資審査業務における「融資DX」の取組みの一環として、2026年7月より株式会社NTTデータ（代表取締役社長 鈴木 正範）が提供する生成AIを活用した融資稟議書作成支援システムを導入しますので下記のとおりお知らせいたします。

本システムは、行内に蓄積された多岐にわたるデータを集約・要約から稟議書の素案の作成までを自動化することで、担当者の事務負担を大幅に軽減するとともに、審査品質の平準化を図ります。これにより、年間最大 13,400 時間の業務効率化を見込んでおり、地域金融機関としてお客さまへの迅速かつ質の高いサービス提供をさらに強化してまいります。

### 記

#### 1. 導入の背景

地域経済を取り巻く環境は、人口減少や人手不足、事業承継、産業構造の転換など、課題が複雑化しています。これに伴い、地域金融機関には、これまで以上に迅速で質の高いコンサルティングと資金供給が求められています。

一方で、法人向け融資においては、多数の取引先ごとに稟議書を作成する必要があり、顧客情報や財務データ、業界動向など、膨大な情報を収集・整理し、文書化する作業は大きな負担となっています。多様化する稟議書作成においては、「どの観点をどの程度書けばよいか」が経験量の違う担当者によって差異が生じることがあり、審査過程で記載内容の問い合わせや取引先への追加ヒアリングが発生するなど、最終承認までの時間が長期化するという課題がありました。

こうした背景を踏まえ、当行はあいちフィナンシャルグループ第2次中期経営計画で掲げる「DX戦略の加速化」および「融資DXの推進」の一環として、生成AIを活用して融資稟議書作成の品質向上と効率化を同時に実現する仕組みの導入を決定しました。

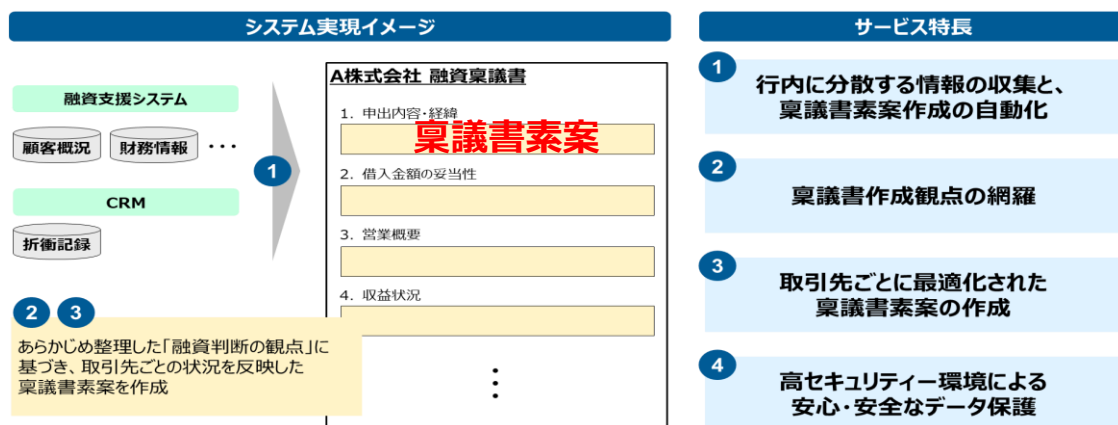
## 2. 生成AIを活用した稟議書作成支援の概要

当行は、株式会社NTTデータが提供する「LITRON<sup>®</sup> Generative Assistant on finposs<sup>®</sup>」を基盤とした融資稟議書作成AIサービスを活用します。本サービスは、行内に分散している各種データを取得・整理し、法人向け融資稟議書の素案を自動作成します。これにより、情報収集から文書作成までのプロセスを効率化し、同時に審査品質の平準化を実現します。

具体的には、本システムは行内に蓄積された顧客概況、財務情報、取引履歴、業界情報などを参照・分析し、融資判断に必要な観点に沿った稟議書の素案を生成します。担当者はその素案を確認し、必要に応じて加筆・修正を行うことで、従来の作成時間を大幅に短縮し、より質の高い稟議書を完成させることが可能になります。

システム導入に先立ち実施した営業店行員を対象とした試行利用では、行員が一から稟議書を作成した場合と比較して、作成時間の削減を確認しました。加えて、審査役による稟議書評価では、従来の指摘数から約 25%削減できることを確認いたしました。また、融資判断に必要な観点を再整理し、共通化された構成で稟議書素案を生成することで、銀行合併後に課題となっていた記載内容や品質のばらつき抑制にも大きく貢献することを確認しています。

### <稟議書作成AIサービスのシステム実現イメージと特長>



## 3. 今後について

当行は、本システムの導入を通じて融資稟議書作成プロセスの効率化と品質向上を図るとともに、あいちフィナンシャルグループ第2次中期経営計画で掲げる「融資DX」をさらに推進してまいります。また、稟議書作成にとどまらず、与信業務全体や関連事務へのAI・デジタル技術の活用範囲を拡大し、営業店事務の一層の削減を目指します。これにより創出した時間を活用し、お客さまへのより質の高い金融サービス提供に取り組むとともに、地域経済と地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

以上

\* 「LITRON」、「LITRON Generative Assistant」、「finposs」は日本国内における株式会社NTTデータの登録商標です。